

平成29年3月亀岡市議会定例会一般質問

亀岡市議会

平成29年3月亀岡市議会定例会 一般質問順序予定表

開催日及び開始予定時間		質問者（会派名）			質問方式
3月7日(火)	10:30～	代表	1	福井 英昭（新清流会）	一括
				休憩	
	13:00～		2	明田 昭（緑風会）	一括
				休憩	
	14:35～		3	並河 愛子（共産党議員団）	一括
			休憩		
	16:10～	4	富谷加都子（公明党議員団）	一括	
3月8日(水)	10:00～	個人	5	齊藤 一義	一問一答
	10:35～		6	平本 英久	一問一答
	11:10～		7	田中 豊	一問一答
				休憩	
	13:00～		8	藤本 弘	一問一答
	13:35～		9	奥野 正三	一問一答
				休憩	
	14:30～		10	木曾 利廣	一問一答
15:05～	11	三上 泉	一問一答		
3月9日(木)	10:00～	個人	12	山本由美子	一問一答
	10:35～		13	小川 克己	一問一答
	11:10～		14	竹田 幸生	一問一答
				休憩	
	13:00～		15	馬場 隆	一問一答
	13:35～		16	菱田 光紀	一問一答
	14:10～		17	石野 善司	一問一答
				休憩	
	15:05～		18	奥村 泰幸	一問一答
15:40～	19	酒井安紀子	一問一答		

1回目の質問後休憩

【注意】

質問者の日程については予定であり、議事の進行により変更する場合があります。ご了承ください。

平成29年3月亀岡市議会定例会 一般質問通告書

番号	質問者 質問日時	質問事項	質問要旨	答弁者
1	福井 英昭 (新清流会) 3月7日(火) 10:30~ 代表質問 (一括)	1 平成29年度当初予算(案)について 2 スタジアム計画について 3 国民健康保険の広域化に向けた取組みについて 4 公共交通について	<p>桂川市長就任以来、今予算が初の本格的な予算と考える。チャレンジビジョンへの反映度を問う。</p> <p>(1)子育て施策について、具体的施策と考え方は。</p> <p>(2)移住・定住促進施策の内容と期待される効果、考え方は。</p> <p>(3)スタジアム用地取得費用について、その財政的裏付けと将来展望は。</p> <p>(4)公共施設の除却方針について、次の展開への用途は。</p> <p>京都スタジアム(仮称)について、その誘致の経過や理念は重要である。これを踏まえた中での計画遂行ができてきているのか。</p> <p>(1)そもそもこのスタジアム建設について亀岡市が目指したコンセプトは何か。またそのコンセプトは変わったのか。</p> <p>(2)京都・亀岡保津川公園を買収した目的は何であったか。</p> <p>(3)一連の動きは、元々のコンセプトに沿った動きではないのか。</p> <p>(4)京都・亀岡保津川公園については、新用地買収とセットのものである。どのように整備していくのか。</p> <p>(5)スタジアム建設に伴う心配事は多い。その具体的対応は。</p> <p>国民健康保険は、その性格が変わり恒常的な財源不足となっており、地域的に大きなばらつきがある。このばらつきを無くし、恒常的に運営していくためにも国保の広域化が行われる。</p> <p>(1)保険料、規模等、国民健康保険の本市の現状を問う。</p> <p>(2)広域化することで、市の役割と業務はどのように変化するのか。</p> <p>(3)広域化に伴う保険料の賦課・徴収と収納対策は。</p> <p>亀岡市地域公共交通計画を平成26年3月に策定している。公共交通はまちの基幹インフラである。この現状と経過、今後を問う。</p> <p>(1)計画は予定通り進んでいるのか。</p> <p>(2)社会実験を兼ねているような部分もあるのがこの政策であると考えるが、実際に運用してみて変更すべき点などは見つからないのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>5 まちの将来像について</p> <p>6 学校規模適正化計画について</p> <p>7 国営ほ場整備と農業を守ることにについて</p> <p>8 「撤退の行政」について</p>	<p>(3) 敬老乗車券事業について、その内容と考え方を問う。</p> <p>(4) コミュニティバスの運賃値上げの目的と効果は。</p> <p>(5) 地域公共交通会議へのタクシー事業者の参加が必要だと考えるがどうか。</p> <p>(6) スタジアム建設に伴う、渋滞を含めた公共交通政策について、所見を問う。</p> <p>国はコンパクトシティを推奨し、また本市も都市計画マスタープランでこれをうたっている。当市の考え方、国の施策に対する対応を問う。</p> <p>(1) 本市の立地適正化計画の進捗は。</p> <p>(2) 都市部以外のあり方についての考えは。</p> <p>(3) 本市の考え方として、何年後に計画が達成できるのか。</p> <p>学校、特に小学校は、地域コミュニティの象徴である。学校規模適正化計画に基づき、学区の変更、特認校制度を取入れての取組みが進んでいるが、その意義と経過、理念を改めて問う。</p> <p>(1) 計画の理念と目的は何か。</p> <p>(2) 市として、この計画通り進めていくのか。</p> <p>(3) 現状での進捗内容は。</p> <p>(4) 特認校制度を取入れたが、その経過は。</p> <p>国営農地再編整備事業亀岡地区(川東)に続き、国営緊急農地再編整備事業(亀岡中部地区)が6工区で進められている。大規模ほ場を確保することで農業の効率化を促し、農業を進展させる方策である。</p> <p>(1) 亀岡中部地区の現在の進捗と見通しは。</p> <p>(2) ほ場整備はまちづくりである。市としては、農地再編に際して、どのようなまちづくりを描いているのか。</p> <p>(3) ほ場整備はあくまで手段である。整備後、市の基幹産業である農業を守り、発展させていく方策と営農への市の関与は。</p> <p>人口減少は本市にとっても例外ではなく、予想を凌ぐペースであると一部では言われている。人口増加時代に続けてきた「拡大の行政」から「撤退の行政」を問われる時代になりつつある。</p> <p>(1) 当市に「撤退の行政」の意識や考え方はあるのか。</p> <p>(2) 当市における、スタジアム計画・国保の広域化・コンパクトシティ・学校規模適正化・保育所の統合問題・国営ほ場整備・敬老乗車券事業も含めて、これはある意味「撤退の行政」なのではないかと思うが、所見は。</p> <p>(3) 時代が転換し「撤退の行政」の手法が必要ならば、はっきりとした意思と明確な指標を発信することによる市民理解が必要なので</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長</p>
--	--	--	---	---

			<p>はないか。</p> <p>(4) 市政のビジョンである総合計画に反映させていくべきではないか。</p>	
2	<p>明田 昭 (緑風会) 3月7日(火) 13:00~</p> <p>代表質問 (一括)</p>	<p>1 平成29年度予算について</p> <p>2 ドローン導入について</p> <p>3 空き家バンクについて</p> <p>4 防災対策について</p>	<p>平成29年度予算編成の基本方針として「選ばれるまち」「住み続けたいまち」亀岡を目指し、市民力で未来を拓く、かめおか・未来・チャレンジビジョンの推進により事業展開をされようとしているが、以下の点について問う。</p> <p>(1) 市税収入が横ばい状態の中、一般会計においては対前年度比10%近い伸びを示しているが、その主な内容は。</p> <p>(2) 「市民力で未来を拓く」とは事業推進の中でどのように施策を展開されるのか。</p> <p>(3) ふるさと納税が実績を上げているが、制度の目的は何処にあったのか。また、亀岡市への納税額、亀岡市から他市への納税状況と、ふるさと納税制度の今後の見通しは。</p> <p>(4) 財政状況と税源確保に伴う今後の予算編成規模の将来見通しは。</p> <p>ドローン導入の計画をされているが、課題も報道されており、慎重に取扱うことが求められている。本市のドローンの利活用計画について問う。</p> <p>(1) 利用目的と機種の種類や性能は。</p> <p>(2) より高度な画像伝送や、長距離の電波利用が検討されている。自治体が利用する所要の制度整備を検討されていると思うが、どのように設定されているのか。</p> <p>(3) 先進自治体の動向と本市の将来利用計画は。</p> <p>空き家バンクに関連して、今回、亀岡地区東部自治会にある古民家等の空き家の利用が具体化するようであり、以下の点について問う。</p> <p>(1) 利活用の概要は。</p> <p>(2) 東部地区は銚町でもあり景観をはじめ近所の人々と良好なコミュニケーションを図る必要があるが、それについての考え方は。</p> <p>(3) 古民家にどのような機能を想定されているのか。</p> <p>(4) 計画は時期的にはどのように進んでいるのか。</p> <p>(5) 管理運営形態はどのようになるのか。</p> <p>防災対策には台風、雨がもたらす洪水・土石流や当地域には考え難い火山噴火・地震による津波等があるが、今回は昨年中に熊本そして鳥取で発生した記憶に新しい地震を取り上げて、以下の点について問う。</p> <p>(1) 不幸にして亀岡を震源とする地震が発生した場合の災害対策本部の設置基準は。</p> <p>(2) 市役所が使用不能時の災害対策本部の設置</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>場所は。</p> <p>(3) 避難所確保と適切な運営の方策は。</p> <p>(4) 人間が生きる上で欠くことのできない水・食料の備蓄の状況は。</p> <p>(5) 学校関係の指示連絡はどのようになっているのか。</p> <p>(6) 発生した規模にもよるが近年のように日本各地で大きな地震が起きている状況からみて確率的には高いと考えておく必要を感じる。そうした場合、市役所職員だけでは対応不可能であり、他の自治体との間で相互応援協定が必要と思うが、本市の現状は。</p> <p>(7) 災害対策は行政の役割が大部分であるが、少しでも被害を少なくすることは、当然のこととして我々市民にも課せられている。中でも家屋の倒壊は耐震補強しかなく、また、家具の転倒・物の落下・移動の防止等は関係機関の指導や啓発活動に負う所が大きいと思うが、自主防災組織を含めて市民啓発の取組状況は。</p>	
	5 大河ドラマの放送について	<p>明智光秀を中心に細川ガラシャ(玉)・細川幽斎・細川忠興の4人を巡るNHK大河ドラマ誘致の現状について問う。</p> <p>(1) NHK大河ドラマ誘致の状況は。</p> <p>(2) NHK大河ドラマ誘致推進協議会の構成自治体は何市あるのか。</p> <p>(3) 各自治体間で不協和音はないのか。</p> <p>(4) 誘致の見通しと放送される年度はいつ頃か。</p> <p>(5) 作家又は脚本家の見通しは。</p>	市長 所管部長
	6 火葬場の建設について	<p>新火葬場の整備計画は、平成27年度中に亀岡市新火葬場整備検討審議会が開催の予定であったが、開催されていないようであり、平成28年度も残すところ僅かとなっている状況の中で、以下の点について問う。</p> <p>(1) 9月定例会では委員の推薦を関係団体に依頼中とのことであったが、その後の状況は。</p> <p>(2) 市民の誰もが利用を避けることのできない施設であるだけに遅れることは許されない。早急に公正で公平な委員の選出を行い、審議会の開催を求めるが所見は。</p> <p>(3) 現火葬場周辺を活用した建設についての所見は。</p>	市長 所管部長
	7 橋梁の維持管理について	<p>スタジアムにややもすると目を奪われがちになるところであるがインフラの維持管理は常に注意を払っておくことが肝要である。先日の行政視察先の倉吉市では、道路や橋に被害が比較的少なくスムーズな発災直後活動が可能で死者については発生していない。このようにインフラの維持管理は、災害時の防災対策としても充分機能す</p>	市長 所管部長

		<p>るものと考えられる。</p> <p>(1) 亀岡市管理の橋梁は何力所あるのか。</p> <p>(2) 安全検査の結果と改修の予定は。</p> <p>(3) 京都府管理の橋梁の状況は亀岡市でも把握しているのか。どのような連携協力がされているのか。</p>		
		<p>8 無電柱化の推進について</p> <p>無電柱化の推進に関する法律が今年の12月16日に公布されている。この法律が制定された背景には2020年の東京オリンピック開催があったものとする。政府は「景観・観光」「安全・快適」「防災」を目的とされているが、亀岡市では加えて銚子の巡行の阻害要因となっており、今迄から地中化の要望を行ってきたところである。この法律に関連して以下の点について問う。</p> <p>(1) 無電柱化の定義は。</p> <p>(2) 無電柱化を推進する場合、亀岡市の役割分担・事業者の役割分担は。</p> <p>(3) 無電柱化推進の調査研究の開始、そして桂川市長の推進に対する決断は。</p>	<p>市長 所管部長</p>	
		<p>9 子どもの貧困について</p> <p>子どもの貧困について、現在、子どもの6人に1人が貧困と言われている。また、子どもの貧困は大人になってからも大きく影響を及ぼすとも言われている中で、以下の点について問う。</p> <p>(1) 教育委員会として、また、福祉分野として子どもの貧困をどのように捉えているのか。</p> <p>貧困の指標データとして就学援助費の支給率があり、数値として把握できるとされている。</p> <p>(2) 就学援助費とはどのようなものか。</p> <p>(3) 全国及び亀岡市の支給率の状況はどうか。</p> <p>(4) 貧困率を把握するには、相対的貧困率、絶対的貧困率があるがどのようなものか。</p> <p>福祉分野として生活保護、障害、医療等々があり、今年の6月定例会において、現在、貧困対策について情報収集しているとの答弁であった。</p> <p>(5) 福祉分野として、貧困対策をどのように考えているのか。</p> <p>子どもの貧困を構成する要因が多岐に渡っている。指標としての就学援助費は教育委員会、生活全般は福祉分野となっており、亀岡市において総合的に取り組む必要性がある現状では、一元的に取り組む組織が必要と考える。</p> <p>(6) 子どもの貧困に取り組む総合的な組織についての市長の所見は。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>	
3	<p>並河 愛子 (共産党議員団) 3月7日(火) 14:35~</p> <p>代表質問 (一括)</p>	<p>1 市長の政治姿勢について</p>	<p>安倍政権に対する所見を問う。</p> <p>(1) 安全保障関連法で自衛隊の海外での武力行使を可能にする仕組みができた。南スーダン国連平和維持活動(PKO)に派遣されている陸上自衛隊員の生命も危惧される。安全保障関連法への所見は。</p> <p>(2) アベノミクスで国民生活破壊、格差と貧困</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>が拡大している。亀岡市の地域経済への影響についての所見は。</p> <p>(3) 共謀罪は現代版の治安維持法であり、もの言えぬ監視社会をめざすものである。市民生活に与える影響は大きいが見解は。</p> <p>本市式典のあり方について問う。</p> <p>昨年11月の自治振興式典、本年の成人式に防衛省(自衛隊)を招待され、市民から驚きの声が寄せられている。</p> <p>(4) 何故招待されたのか。その理由は。</p> <p>(5) 他市の状況はどうか。</p> <p>(6) 招待することに対して市民から申入れや要望書等が寄せられている。やめるべきであると思うが所見は。</p>	
	2 来年度予算(案)について	<p>来年度予算(案)の編成について問う。</p> <p>(1) 予算編成をするにあたり、市民の暮らしや地域経済をどのように把握されているのか。</p> <p>(2) 財政調整基金などの取崩しで主要3基金は年々減少している。それぞれの本年度予算への繰入額と残高は。</p> <p>(3) 財政調整基金の目的は何か。</p> <p>(4) 緊急事態に備えておくべき財政調整基金を大幅に取崩すような予算編成は控えるべきと思うがどうか。</p>	市長 所管部長
	3 スタジアム建設について	<p>来年度予算の提案に係って以下の点を問う。</p> <p>(1) 2月2日の環境保全専門家会議の結論に対する所見は。</p> <p>(2) 2月3日の公共事業評価第三者委員会の結論に対する所見は。</p> <p>(3) 交通渋滞や騒音等、地域住民生活についてのシミュレーションはされているのか。また、住民への説明の計画はされているのか。</p> <p>(4) 財政調整基金を取崩して実施する必要があるのか。特別委員会でも明らかにされていないが。</p> <p>(5) 地域経済効果はどれくらいと試算されているのか。</p> <p>(6) 委員会の指摘要望として新たな用地購入はすべきでないと言われている。予定地は問題山積であり、一旦白紙に戻して土地購入はやめるべきと思うが所見は。</p>	市長 所管部長
	4 子育て支援について	<p>来年度予算の提案に係って以下の点を問う。</p> <p>(1) 多子世帯への子ども医療費助成拡大として予算計上がされているが、対象人数、予算額はどうか。</p> <p>(2) 小学校卒業までの子ども医療費無料化についての考えは。</p> <p>(3) 他市と比較して自慢のできる施策はあるのか。</p>	市長 所管部長

		<p>5 中学校給食について</p> <p>6 介護保険制度について</p> <p>7 生活保護行政について</p> <p>8 就学援助制度について</p>	<p>来年度予算の提案に係って以下の点を問う。 (1) 学校給食法に基づく学校給食とは。 (2) デリバリー弁当の選択制についての考えは。 (3) 今後の中学校給食の考え方は。</p> <p>介護保険制度が国の政策の中で大きく変わろうとしている。 (1) 平成29年度から亀岡市の独自事業となるが、どのような計画か。 (2) 民間の協力が必要と聞くが周知徹底はどうか。</p> <p>生活保護は、働いているかどうかにかかわらず生活に困った時、国民の誰もが憲法第25条や生活保護法などに基づいて、権利として最低生活の保障を請求できる制度である。 (1) 相談件数と受給者の件数は。(3年間) (2) ケースワーカーの人数は十分か。専門的な知識が要求されるが、研修などの支援、保障はされているのか。 (3) 相談者が車を保有している場合、市の基本的な考え方や対応はどのようにされているのか。</p> <p>子どもの貧困は6人に1人と言われており、16.3%の貧困率となっている。どの子にも等しく教育を受ける権利がある中で、就学援助制度の充実が求められる。 (1) 本制度の周知はどのようにされているのか。 (2) 学校によって対応が違うことはないのか。 (3) 修学旅行などのように金額がかさむ場合、受給世帯への相談、説明は十分にされているのか。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>
4	<p>富谷加都子 (公明党議員団) 3月7日(火) 16:10~</p> <p>代表質問 (一括)</p>	<p>1 防災の取組みについて</p>	<p>毎年起こる自然災害への防災対策は、行政の最重要責務である。自助・共助・公助の認識が欠かれない。しかし市民独自の備えや防災訓練参加人数から、意識啓発が課題と考える。本市の取組みを問う。 (1) 家庭や学校職場など、それぞれの居場所にて一斉防災訓練(シェイクアウト)に取組む計画はあるか。 (2) 学校の防災教育の取組みは。 (3) 発災時、多くの被災者を集約する場として病院の役割は大きいと考える。市立病院では、医師・看護師、医療スタッフ、職員等と各種団体等との連携は明確にすべきと考えるが、大規模災害を想定した訓練はどのように行っているか。 (4) 本市において、ハザードマップが地震・洪水・土砂災害別に分けられているが、利活用</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>2 貧困対策について</p> <p>3 食品ロスの取組みについて</p> <p>4 健康寿命延伸の取組みについて</p>	<p>しやすい防災ブックとして一本化する考えは。</p> <p>(5) 今後、地域での防災訓練の進め方は。</p> <p>(6) 防災リーダーや防災士等の配置の取組みはあるか。</p> <p>(7) 防災減災の取組みとして、「無電柱化」対策を国が支援している。亀岡市の玄関である亀岡駅前や鉾町の景観の保護も含め、亀岡市のまちづくり計画に位置付ける考えは。</p> <p>子どもの貧困対策は、広がる格差社会に一石を投じ、子どもたちの未来をつなぎ、府が掲げる「共生社会」実現にも大きく関わる課題である。特に居場所確保、学習支援強化が重要と考える。本市の取組みを問う。</p> <p>(1) 子ども食堂の拡大は、人との絆をつむぎ、社会性をはじめ多くの可能性を开花させる場として評価する。今後、拡大していくべき子ども食堂の認識と市としての関わりをどう考えるか。</p> <p>(2) 学習支援強化は、子どもに自信を与え、向上心を育み、将来の選択肢を広げるものと考え。現状の授業外の取組みを拡大する考えは。</p> <p>(3) 中学校で授業外の学習支援の実施回数や対象人数は。</p> <p>(4) 中学校の保護者からは、「地域未来塾」なる地域での学習支援を期待する声があるが、本市の考えは。</p> <p>政府も、消費者基本計画において食品ロス削減を位置付けている。各自治体は重要性を鑑み、食品ロスの取組強化に着手している。本市の今後の取組みを問う。</p> <p>(1) 亀岡市ごみ処理基本計画において、リデュース(廃棄物発生抑制)の食品ロス削減目標はあるか。</p> <p>(2) 事業者との連携も今後期待する。商慣習の見直しの声かけや廃棄物の中で有効利用できるものへの手立て等、何らかのアクションを起こす考えは。</p> <p>(3) 市民の意識啓発が最重要と考える。食品ロスに特化したイベント開催や啓発周知の拡大、チラシやガイド本作成等の取組みの考えは。</p> <p>(4) 京都府もフードバンクの設置を推奨しているが、まずは農家やJA、スーパー、福祉との連携を構築し、生活困窮者世帯への支援のネットワークを今後構築する考えは。</p> <p>本市は、「かめおか健康プラン21」(第2次亀岡市健康増進計画)のもと、市民の健康増進事業が図られている。近年の平均寿命延伸により</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>
--	--	---	--	--

		<p>益々健康寿命延伸の取組みを期待する。本市の取組みを問う。</p> <p>(1) K D B (国保データベース) システムの活用状況は。また、データベースから見た課題は。</p> <p>(2) 健康増進は、健康の取組みに無関心な層への働きかけが課題と考える。さらなる取組みはあるか。(健康ポイント導入の検討結果は。)</p> <p>(3) 健康の取組みが、市・各種団体等、様々な主催で実施されている。年間計画としてでき得る範囲で掌握し、冊子等でお知らせできれば、参加しやすいと考える。本市の考えは。</p> <p>(4) 本市は、ウォーキングをするのに最適な自然環境である。誰もが手軽に始められるウォーキングを推奨する事業を展開し、事業効果を検証するような取組みを期待する。本市の考えは。</p> <p>(5) 誰もが有効活用できる公園として、健康遊具を設置する自治体が増えている。今後、立地する公園や広場があれば、健康意識も高まり、活用の幅が広がると考える。市の考えは。</p>	<p>薬剤師外来の市民認識は低いと考える。しかし、今後増える外来がん化学療法を行う患者やハイリスクな薬剤を使用する患者にとって、安全安心を支えていただく受け皿としての存在価値は大きい。薬剤科の専門性を幅広く地域医療に寄与していただくことを期待する。</p> <p>(1) 薬剤師外来開設の役割と目的は。</p> <p>(2) 保険薬局と病院薬局の違う点は何か。</p> <p>(3) 今後、在宅医療を支えるべき自治体病院として、薬剤師の専門性を生かし、疾病に応じた生活指導等を担う考えは。</p>	<p>所管部長</p>
	<p>5 亀岡市立病院薬剤師外来開設について</p> <p>6 亀岡市出前タウンミーティングについて</p>	<p>亀岡市出前タウンミーティングは、地域コミュニティ推進に向けて大きく貢献できる手法と考える。さらなる利用拡大の取組みを望む。本市の考えを問う。</p> <p>(1) 市政の取組みの理解を深め、対面で市民との意見交換を通して協働のまちづくりに寄与する有効な手段と考える。利用状況から、さらなる周知徹底を図るため、メニューを単独で配布すべきと考える。本市の考えは。</p> <p>(2) 各地域の居場所づくりが進む中、現場では内容の充実が課題とされている。サロン充実として出前タウンミーティングの活用は有効と考える。積極的に推進する考えは。</p> <p>(3) 出前タウンミーティングが拡大されれば、検診受診の推進や防災減災の意識向上、行政サービスの周知拡大につながり、課題解決にも貢献すると考える。市の考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>	<p>市長 所管部長</p>

<p>5</p> <p>齊藤 一義 3月8日(水) 10:00~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 住みたいまち、選ばれるまちについて</p> <p>2 観光について</p> <p>3 空き家バンクについて</p> <p>4 消防団について</p> <p>5 亀岡市立病院について</p>	<p>このたび、週刊ヤングジャンプに亀岡を題材として「ファインダー」が連載開始となった。そこには「亀岡から京都市内まで20分だから」と亀岡の近さや街並みが描かれている。これは、原作者の秋本治氏が率直に、京都市内からたった20分で来られる、京都市とは別世界の素晴らしいまち、亀岡に惚れこまれたのだと思われる。まさにそこに「住みたいまち」のヒントがあり、亀岡のイメージづくりが大切と考える。</p> <p>(1)「京都から20分」のラッピングシールを公用車に張り、近さのアピールをしてはどうか。</p> <p>(2)「都会も田舎も楽しめる理想の京都暮らし」、著者グレゴリ青山氏の「トカイナカ」を亀岡市の売りにしてはどうか。</p> <p>筆者グレゴリ青山氏は、著書「京都「トカイナカ」暮らし」の中で、亀岡の観光について「観光地としてはちょっと薄幸な場所である」と書かれている。私も12月定例会で観光入込客数に対して観光消費額の薄さを指摘したが、人口減少の本市において交流人口増は必須の課題と考える。</p> <p>(1)本市に点在している魅力ある観光地をつなぎ合わせる工夫が必要と考えるがどうか。</p> <p>内閣府が2014年に行った世論調査によると、都市に住む人に「地方に移住したいですか」との問いに対して、20代から30代の半数以上が地方移住を希望している。空き家バンクの役割は大変重要であると考えます。</p> <p>(1)旧町の古民家において、定住お試しとして移住と店舗起業者を狙ったアンテナショップの店舗空き家を設けてはどうか。</p> <p>近年起こる自然災害や大規模火災等において、地域に根差した消防団の活動は大変重要な役割がある。しかしながら、全国的にも団員の減少に歯止めが利かない状況があり、曾我部分団においても今年度の新入団員はたった1人であり、今後の地域の安全安心に不安を覚える。</p> <p>(1)消防団員の定数を見直す考えは。</p> <p>(2)団員確保と理解のため、消防団事業所制度のさらなる拡充と啓発をと考えるが所見は。</p> <p>(3)学生消防団員を募集して、地域防災力の維持を図ってはどうか。</p> <p>(4)全国的に消防団員が減少しているが、地域の安全を補う意味でも常備消防職員は増えている。今後本市における地域防災の考え方は。</p> <p>亀岡市立病院の職員は懸命に職務を遂行し、このたび経営改善に向けて回復期病床を5割にする新改革案で意見を募られたところであるが、全</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 病院事業管理者</p>
--	---	--	---

		6 学校統廃合について	<p>国的に公立病院は経営破たんや民間医療法人への売却など、改めて自治体病院の経営は難しいと思うところである。</p> <p>(1) 亀岡市立病院の現在の経営状況は。</p> <p>(2) 経営に関して市長の所見は。</p> <p>昨年度から市内各地において学校統廃合が問題視されている。亀岡市学校規模適正化基本方針によると、人口減少を鑑み児童生徒数によって適正な学校規模数に当てはめようとされているように思われる。</p> <p>(1) 学校規模適正化対象校とそうでない学校との学力テストの結果の違いを公表してはどうか。</p> <p>(2) 本市の小・中学校の学力テスト順位はそれぞれ府下市町村別で何番目か。</p> <p>(3) 初年度で入学生がある特認校制度指定校の期間を延長すべきではないか。</p> <p>(4) 別院中学校の統廃合に関しては、南桑中学校との交流会を常時行い、統合は少なくとも2年から5年後にと改めてはと考えるが。</p>	教育長
6	平本 英久 3月8日(水) 10:35 ~ 一問一答	1 交通弱者を守るための公共交通政策について	<p>本市におけるコミュニティバス等の公共交通拡充について問う。</p> <p>(1) 篠地区内でのコミュニティバスの試験運行から得た課題と今後の拡充について検討しているのか。</p> <p>(2) 西つつじヶ丘におけるコミュニティバスの検討は現在どうなっているのか。</p>	市長 所管部長
		2 移住・定住促進に向けてのまちづくりについて	<p>「住み続けたいまち」をめざす本市において、今後の移住・定住促進に向けてのまちづくりについて問う。</p> <p>(1) 空き家バンクが設置されてから現在までの状況はどうなっているのか。</p> <p>(2) 本市における「移住促進特別区域」の指定についての現状と課題はどうか。</p> <p>(3) 移住促進に向けて市街化調整区域内における住宅等の建築基準の緩和についての検討は現在どうなっているのか。</p> <p>(4) 増加傾向にある耕作放棄地についての現状と対策はどうか。</p> <p>(5) 近隣住民にとり大きな不安要素である管理不全の空き家の実態把握の進捗と対策はどうか。</p> <p>(6) 空き家等対策計画や協議会設置に向けての進捗はどうか。</p>	市長 所管部長
		3 災害に備えた安全・安心のまちづくりについて	<p>本市における自然災害などの有事に備えての整備や制度の拡充について問う。</p> <p>(1) 災害時に備えての備蓄の現状はどうなっているのか。</p> <p>(2) 災害支援や受援についてどのような協定が</p>	所管部長

		<p>4 道路整備と交通安全対策について</p> <p>5 放課後児童会など子育て環境の整備について</p>	<p>結ばれているのか。</p> <p>(3)有事の際の災害ボランティアセンターの設置や運営についてどのような想定をしているのか。</p> <p>(4)被災地への職員派遣を通じて本市では今後どのように災害対策に取り組んでいくのか。</p> <p>本市における道路整備と交通安全対策について問う。</p> <p>(1)市道中矢田篠線の全線開通により特に篠区間は京都市内からの新たな玄関口となりつつあるが、「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」の観点から今後の道路整備は検討しているのか。</p> <p>(2)府道王子並河線から詳徳小・中学校への通学路となっている市道柏原森線の拡幅は検討しているのか。</p> <p>(3)市道北古世西川線の全線開通に向けて、交通安全対策については検討しているのか。</p> <p>働く子育て世代が安心して子育てできる環境の整備と拡充について問う。</p> <p>(1)本市における放課後児童会の利用状況は現在どうなっているのか。</p> <p>(2)放課後児童会における課題や改善点はどのようなものがあるのか。</p> <p>(3)子育て世代が安心して就業できるように放課後児童会の拡充を今後どのように進めていくのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>
7	<p>田中 豊</p> <p>3月8日(水)</p> <p>11:10~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 都市計画公園京都・亀岡保津川公園について</p> <p>2 京都スタジアム(仮称)について</p>	<p>昨年の9月定例会で質問したが、答弁等を踏まえて以下の点を問う。</p> <p>(1)都市計画決定を見直す必要があるが、どのように計画(土地利用)を変更するのか。</p> <p>(2)いつ変更するのか。</p> <p>(3)事業認可を受けている南丹都市計画公園事業の認可変更が必要だが、手続きの進捗状況はどうか。</p> <p>(4)2月22日の市議会全員協議会で示された「京都スタジアム(仮称)の概算事業費について」には都市公園の工事費が計上されていないのは何故か。</p> <p>(5)都市公園条例の再改正(元に戻す)はしないのか。</p> <p>2月1日付けで、「亀岡市都市計画公園及び京都スタジアム(仮称)建設影響評価に関する緊急意見書」が、(公財)世界自然保護基金ジャパンや(公財)日本自然保護協会など54団体から共同意見書として知事と市長宛に提出された。</p> <p>(1)この意見書に対する所見は。</p> <p>(2)3点の緊急意見が提出されているが、どう対応するのか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>3 マイナンバー（個人番号）制度について</p> <p>4 子どもの貧困について</p> <p>5 就学援助について</p>	<p>マイナンバー（個人番号）制度の運用開始から1年になるが、次の点について問う。</p> <p>(1) マイナンバーが個人宛に送られたが、現時点で届いていない（市へ返送された）数は何件か。</p> <p>(2) マイナンバーカードの発行数は何件か。</p> <p>(3) 市の目標に比して多いのか少ないのか。</p> <p>(4) 住民税の「特別徴収税額通知書」を送付予定の事業者数は。</p> <p>(5) 「特別徴収税額通知書」にマイナンバーを印字するのか。</p> <p>(6) 事業者の準備状況を把握しているのか。</p> <p>(7) 普通郵便で送付して個人情報保護できるのか。</p> <p>子どもの貧困の実態調査について問う。</p> <p>(1) 要保護世帯や準要保護世帯などの小学校6年生、中学校3年生の生活や学習の状況を把握しているか。</p> <p>(2) その状況をどのように受け止めているか。</p> <p>(3) 民生委員児童委員が把握する母子・父子世帯実態調査の結果はどうか。</p> <p>国の来年度予算案で「要保護世帯」の就学援助費のうち、新入学児童生徒の入学準備費用の国の補助単価が2倍に引き上げられた。</p> <p>(1) これに伴い、本市でも2倍に引き上げるべきと考えるがどうか。</p> <p>(2) 入学準備費用の対象品目はどうか。</p> <p>(3) 就学援助の入学準備費用の支給時期を入学前にするべきと考えるがどうか。</p> <p>(4) 今回の単価改定を要保護世帯にも適用すべきと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
8	<p>藤本 弘 3月8日(水) 13:00～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 人口減少の歯止めについて</p>	<p>「移住したいまち 1」の福岡県糸島市では、まちの魅力発信や移住者からのアドバイスや体験など、積極的に発信している。これを参考として、以下の点を問う。</p> <p>(1) 亀岡市のホームページでは、移住人口の増加のため、就職のあっせんや住まいのあっせん、市の魅力発信等はどのようにしているか。</p> <p>(2) 市のホームページから「全国移住ナビ」へのアクセスや動画掲載等は考えているか。</p> <p>(3) 転出者防止のため、企業誘致や求人案内等はどのように紹介しているか。</p> <p>(4) 亀岡の「古民家再生」による、田舎暮らしの魅力発信等についてはどのように考えるか。また、テレビ局の「ピフォーアフター」等への応募等も検討されているか。</p> <p>(5) アレックス・カー氏等、全国的に有名な亀岡の観光大使の協力を得て、市のホームペー</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>ジで亀岡の古民家やその魅力発信をしてはどうか。</p> <p>(6)古民家を生かした生活や公共施設等、「かめおか古民家めぐり」等の企画を考えてはどうか。</p> <p>(7)亀岡市の古民家を生かしたゲストハウスや民泊等は市街化調整区域では厳しいと聞くが、何か条件緩和等は考えられているか。</p> <p>(8)JR亀岡駅北のスタジアムを中心としたまちづくりや「亀岡まるごとガーデン・ミュージアム」の構想は、亀岡市のイメージアップに大きく貢献するものと考えますが、その情報発信はどのように考えるか。</p>	<p>まちおこしの企画、イベントについて問う。</p> <p>(1)雲海テラスのライブ配信事業について 雲海テラスのライブ配信事業は、亀岡市民向けのものか、亀岡市外への亀岡の魅力発信事業か。 何カ所ぐらいのライブカメラ発信を考えているか。 亀岡市の雲海写真コンテストやブログでの発信、小冊子の発刊等も考えてはどうか。 雲海テラスめぐりや情報発信は考えているか。</p> <p>(2)雛まつりについて 亀岡市でも「亀山城下ひなまつり」が柳町や北町で開催されるが、市内外への情報発信はどのようにしているか。 亀岡市での集客を目的とした独自企画はどのようにしているか。 文化資料館や教育委員会を中心として、家で眠っている雛人形の寄贈を求め、ギャラリーかめおかや市交流会館で「雛人形千体ひなまつり」等を企画し、「城下町雛めぐり」とともにまちおこしを図ってはどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>2 まちおこしの企画、イベントについて</p>	<p>3 雪害対策について</p>	<p>この2月、京丹波町や南丹市の美山町では、雪害でパイプハウスが壊れ、農作物にも多くの被害が出ている。</p> <p>(1)亀岡市での雪害状況は、どれ位報告されているか。</p> <p>(2)被害額は施設や農作物を含めてどれ位か。</p> <p>(3)被災者支援のため、府への助成支援等は要請しているか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
	<p>4 「空き家条例」の制定について</p>		<p>「空き家条例」の制定について問う。</p> <p>(1)実態調査による「空き家」の把握は、どのようになっているか。また、市内にどれ位あるのか。</p> <p>(2)「空き家バンク」には、どれ位の登録があるか。</p> <p>(3)「空き家バンク」の創設で成立した物件は</p>	<p>市長 所管部長</p>

		<p>5 京阪神とのパイプ、アクセス道路の整備促進について</p>	<p>あるか。</p> <p>(4) 空き家等の建物の放置に対して、所有者の管理責任を定めた罰則規定を伴う条例の制定が必要と思うが、その考えはあるか。</p> <p>京阪神とのパイプ、アクセス道路の整備促進について問う。</p> <p>(1) 国道423号法貴バイパスの進捗状況と、完成予定はいつごろか。</p> <p>(2) 2019年には、新名神高速道路の茨木北ICが完成し、府道46号茨木亀岡線とつながることとなるが、茨木亀岡線のバイパス化や拡幅整備についてはどのように考えているか。また、府へは要望しているか。</p> <p>(3) 府道6号枚方亀岡線の拡幅整備やバイパス化については、どのように考えるか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
9	<p>奥野 正三 3月8日(水) 13:35~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 いじめ問題について</p> <p>2 雪害について</p> <p>3 第2回京都亀岡ハーフマラソンについて</p>	<p>大津市で中学2年生のいじめによる自殺事件が2012年に発覚し、これが契機となって2013年にいじめ防止対策推進法が定められた。それによって学校の対処方法が明確化され、学校が構すべき基本的施策が示されている。本市においても、この法に基づいて対処されていると思うが、このことについて問う。</p> <p>(1) いじめの早期発見のための措置は。</p> <p>(2) いじめの相談体制の整備は。</p> <p>(3) インターネットを通じて行われるいじめに対する対策は。</p> <p>(4) いじめ防止、調査等の対策に従事する人材は。</p> <p>(5) いじめ防止の啓発活動は。</p> <p>1月14日から16日の大雪で、京都府北中部が雪害にあった。その後、2月に入っても大雪にみまわれ、ビニールハウスの倒壊、雪による倒木等が発生した。本市は府北部ほどではないものの、被害が発生していると考え。</p> <p>(1) 被害調査は行ったのか。</p> <p>(2) その被害額は。</p> <p>(3) 市としての今後の対応は。</p> <p>(4) 幹線道路の除雪対応は。</p> <p>1992年バルセロナオリンピック女子マラソン日本代表小鴨選手をゲストランナーに迎え、全国各地から3440人が参加して開催された。その運営について問う。</p> <p>(1) コース沿道、各自治会の「おもてなし」動員の依頼は。</p> <p>(2) 運動公園の「おもてなし」出店ブースの依頼は。</p> <p>(3) 道路通行止めによる走路員と迂回車両との相互対応は。</p> <p>(4) ハーフマラソンによる観光集客効果は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

10	<p>木曾 利廣 3月8日(水) 14:30～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 河川事業について</p> <p>2 京都スタジアム(仮称)建設について</p> <p>3 学校規模適正化問題について</p>	<p>1 2月定例会での質問に続き新たな点を問う。記録的豪雨となった平成25年9月台風18号の浸水被害対策として、平成31年度を目途に京都市内の桂川緊急治水対策事業が推進されている。現在、京都府では、亀岡市域における平成29年度の桂川治水対策事業(保津工区)の予算が議会に上程されている。</p> <p>(1)台風18号で同じく浸水被害にあった亀岡市域における治水安全対策事業として、京都府の平成29年度予算に要望した具体内容は。</p> <p>(2)亀岡市域(保津工区)の事業推進において、大井町自治会からの要望である、桂川の本川堤防の強靱化が必要と考えるが、京都府予算への反映は。</p> <p>(3)桂川本川の堆積土砂の撤去が喫緊の課題であるが、本市が要望した予算内容となっているか。</p> <p>(4)また、民間の砂利採集業者の復活による堆積土砂の撤去が望まれるが、12月定例会以降における京都府の回答は。</p> <p>昨年環境保全専門家会議の座長提言を受けて、京都スタジアム(仮称)の建設予定地を変更するための経費が平成29年度予算に計上されているが、再度、騒音・景観対策、交通渋滞緩和策及び14億円で購入した公園用地の活用実施計画等の課題について尋ねる。</p> <p>(1)騒音・景観に関して、地元住民に対する京都府の実施設計に基づく詳細説明会はいつ行われるのか。</p> <p>(2)場所変更による交通アクセスの整備、混雑緩和策について、京都府の実施設計に基づく住民説明は。また、本市が整備できる内容は。</p> <p>(3)京都府の公共事業評価第三者委員会は整備計画を了承したが、アユモドキの保全策を考える環境保全専門家会議は、影響をさらに詳細に調べることを条件に了承されているが、詳細な内容とは何か。</p> <p>(4)変更後のスタジアム関連事業の負担総額は、約45.1億円(国・府補助含む)と見込まれているが、その内容は。</p> <p>現在、学校規模適正化の取組みが教育委員会の主導により進められているが、該当する地域での説明会において各地域で不満が出ている。このままでは学校・保護者・地域の混乱を招くと考えるが、教育委員会の基本的な考えを再度問う。</p> <p>(1)地域によっては一方的に通学変更ありき、期間も本年2月頃に決定して30年度より実施するかのような説明がされているが、それぞれの地域事情や学校の考え方など、今までの経過を理解した上で最善策を提言すべ</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>教育長 所管部長</p>
----	---	---	--	---

		4 防災対策について	<p>きである。教育委員会の考えは。</p> <p>(2) 校区変更の話題が子どもたちの人間関係まで毀損しないか、また、いじめの原因とならないか心配する保護者もいるが、教育委員会の考えを再度問う。</p> <p>(3) 安全安心の通学路確保を心配する保護者もおられるが、教育委員会の通学路の安全対策についての考えは。</p> <p>阪神・淡路大震災、東日本大震災、新潟中越地震及び熊本地震等の教訓から本市の防災対策を問う。</p> <p>(1) 地震や水害等の災害が発生したら、まず状況を判断して、一時避難所に指定されていてもいなくても、近くの集会所に避難すると考えられる。集会所が老朽化している場合の対策と改修、新築の補助金の見直しは。</p>	市長 所管部長
11	三上 泉 3月8日(水) 15:05 ~ 一問一答	1 スタジアム用地を含む亀岡駅北地域の開発について	<p>亀岡駅北地域の開発については、スタジアム建設計画が拙速に進められて、関係会議の持ち方に批判の声が上がり、様々な問題が懸念されている。とりわけ、水害対策の点で、4年前の水害に遭われた市民からは、同じ規模の豪雨でも水位をできるだけ下げしてほしいと痛切な声が出されている。</p> <p>(1) 高水敷掘削土を積むことで水位は変わらないとしているが、この掘削と盛土によって、下流周辺地域への影響はどうなるのか。</p> <p>(2) また、広範な地域を土地区画整理事業地として土を積んだ場合、対岸や上流への影響はどうなるのか。</p> <p>(3) 10年確率の豪雨災害対策よりも、さらなる河川改修計画が必要とされているのに、10年確率に対応できるという理由で開発が進むことは矛盾していないか。</p> <p>(4) 遊水機能を持つ駅北地域での開発は大変問題があるという専門家の学術的知見があることを承知しているか。</p> <p>(5) そのうえで亀岡市は開発を進め、あの場所でのスタジアム用地購入を進めることに全く不安はないのか。</p> <p>(6) 駅北土地区画整理事業地にスタジアムが建設される計画となることで、都市計画変更も高層化に伴う杭打ちによる影響など、さらなる問題点が浮かび上がるのではないか。このような場所でのスタジアム建設は中止すべきでは。</p>	市長 所管部長
		2 学校規模適正化について	<p>この間、2つの地域でブロック協議会や住民説明会が開催され、その場で住民や保護者から様々な意見や要望が出されている。</p> <p>(1) 今回提起されている、別院中ブロック及び東輝・詳徳中ブロックの施策について、平成</p>	市長 教育長 所管部長

		<p>3 学校の施設設備及び教育諸費の充実について</p>	<p>30年度からの実施は難しいと考えるが所見は。</p> <p>(2)現時点で、学校現場の実情や意見を十分に尊重した計画となっているのか。</p> <p>(3)学校、家庭(子ども・保護者)、自治会等地域住民の十分な納得の上に、ゆとりを持った準備期間が確保されているか。</p> <p>(4)住民・保護者の合意がきちんと得られていない中での変更は、後々禍根を残すことになる。この間の経緯を踏まえて、結論・時限ありきの姿勢を改めるべきでは。</p> <p>学校の施設設備及び教育諸費の充実について問う。</p> <p>(1)中学校への空調設備の具体的な着工までのスケジュールは。</p> <p>(2)別院中学校と育親中学校が、計画から外れている理由・根拠は。</p> <p>(3)両校への設置の見通しは。</p> <p>(4)小学校への空調設備導入のスケジュールは。</p> <p>(5)トイレ改修の進捗状況と今後の見通しは。</p> <p>(6)消耗品費などの予算不足は全校で解消されているのか。</p> <p>(7)年々実施しにくい状況になっている、学校での文化鑑賞などの事業に対する予算措置、補助金などについての考えは。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
12	<p>山本由美子 3月9日(木) 10:00～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 新生児聴覚検査について</p> <p>2 学校給食費の公会計化について</p>	<p>生まれつき聴覚に障害のある先天性難聴は、千人に1人～2人の割合とみられているが、早期発見と適切な支援により影響を最小限に抑えることができる。そのことから、すべての新生児を対象として新生児聴覚検査を実施することが重要である。</p> <p>(1)本市における新生児聴覚検査の現状は。(出生数、受診率、検査を実施できる医療機関など)</p> <p>(2)受診状況の把握や未受診児への対策は。</p> <p>(3)新生児聴覚検査の周知啓発の取組みは。</p> <p>(4)公費助成を導入し、受診を促す体制を整備する考えは。</p> <p>学校給食費の会計処理については、公会計、私会計のいずれで行うかは、設置者である各地方自治体の裁量に委ねられているが、昨年6月、文科省からの通知「学校現場における業務の適正化に向けて」の中には、「学校給食費などの学校徴収金会計業務の負担から教員を解放する」と示されている。</p> <p>(1)学校給食費の徴収方法及び徴収状況は。</p> <p>(2)未納が発生した時の対応は。</p> <p>(3)文科省の通知に対する見解は。</p> <p>(4)公会計、私会計のメリット・デメリットは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長 所管部長</p>

		<p>3 学校規模適正化について</p>	<p>(5) 公会計への移行についての考えは。</p> <p>別院ブロックにおいては、本年に入り住民説明会が開催され、様々な意見や要望が出された。</p> <p>(1) 住民説明会で出た意見や要望を受けて、今後どのように取組まれるのか。</p> <p>(2) 方向性が決まっていない中で、平成29年度予算(案)に学校規模適正化経費として「学校間交流事業補助金」が挙げられているが、教育委員会の考えは。</p> <p>(3) 原案には、平成30年4月からという編入時期が示されているが、時期や方法について、住民、学校現場の意見も聴きながら、柔軟な対応をと考えるが、所見は。</p> <p>(4) 小規模特認校制度については、制度をより充実させるために検証し、改善する考えは。</p>	<p>市長 教育長 所管部長</p>
13	<p>小川 克己 3月9日(木) 10:35~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 災害に強いまちづくりについて</p> <p>2 安全・安心のまちづくりについて</p>	<p>昨年は、4月に熊本地震が発生し、6月から10月に局地的豪雨、12月には新潟県において糸魚川市大規模火災が発生した。各地でさまざまな災害が発生し、甚大な被害をもたらした。本市における防災・減災対策について問う。</p> <p>(1) 災害発生時には第1次緊急輸送路である国道9号や京都縦貫自動車道が通行止めとなる可能性がある。緊急輸送路の確保について、ダブルルートについての所見、今後の取組みは。</p> <p>(2) 災害時における食料等の備蓄状況と、今後の取組みは。</p> <p>(3) 一時避難施設・避難場所で耐震基準に満たない場所はあるのか。</p> <p>(4) 水道施設や水道管の耐震状況は。</p> <p>(5) 災害発生時の特設公衆電話の設置・利用について、西日本電信電話株式会社京都支店と協定を締結されたが、概要は。</p> <p>(6) 昨年、台風16号の影響で、9月20日に避難準備情報が発令され、21箇所の避難所が開設された。情報伝達において、地域防災デジタル移動通信システムは活用されたのか。</p> <p>(7) 平成29年度の本市総合防災訓練の主眼と、訓練の概要は。</p> <p>(8) 平成29年度の災害別訓練の予定は。</p> <p>(9) 警察や消防、自衛隊や関係機関などとの情報共有・連携体制は万全か。</p> <p>(10) 自主防災会活動の現状は。</p> <p>(11) 火災の発生を知らせて逃げ遅れを防ぐ、住宅用火災警報器の普及率は。</p> <p>セーフコミュニティで安全・安心のまちづくりを目指している本市であるが、犯罪抑止、防犯活動について問う。</p> <p>(1) 青パト(青色回転灯を装着した自動車によ</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>

		<p>3 JR千代川駅周辺地区のバリアフリーについて</p>	<p>る自主防犯活動)など、防犯活動の現状は。 (2)本年度の防犯カメラ設置状況やドライブレコーダー協定の状況、成果は。 (3)防犯カメラ設置やドライブレコーダー等、平成29年度の取組予定は。</p> <p>昨年、駅東広場が整備され供用開始となり、駅バリアフリー整備の基本設計が進められているところである。 (1)千代川駅及び千代川駅から概ね半径500メートルのバリアフリー重点整備地区について、本市の考え方と平成29年度の取組予定は。 (2)関連して、国道9号千代川駅前交差点から千々川橋までの歩道整備についての考えは。</p>	<p>市長 所管部長</p>
14	<p>竹田 幸生 3月9日(木) 11:10~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 子ども食堂について</p> <p>2 災害時庁舎電話回線コントロールについて</p> <p>3 避難所Wi-Fiについて</p> <p>4 待機児童解消(保育士確保)について</p> <p>5 新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)実施に向けた市民</p>	<p>昨年より実行委員会形式で「かめまる子ども食堂」が開催されている。様々な環境や状況の人々がお互いの居場所づくりを目指し、多様性を大切にすることを目的としている。 (1)亀岡市としてどのような取組みと認識しているか。 (2)京都府が平成29年度に補助を始めるが、どのような内容か。 (3)亀岡市において現在何か支援は行っているか。 (4)今後の支援の方向性はどうか。</p> <p>災害発生時には、市役所に一斉に外部から電話が殺到することが予想される。 (1)情報収集、業務連絡等の電話回線が確保できるシステムになっているか。</p> <p>災害時避難場所の公衆無線LAN(Wi-Fi)環境構築に向けて、総務省は2020年までに整備の方針を固めた。 (1)公衆無線LANの有用性をどのように考えるか。 (2)他市における災害時の事例を把握しているか。 (3)亀岡市の今後の方向性は。</p> <p>保育所の待機児童の解消が急務であり、年度途中での保育士確保が求められる。 (1)亀岡市での保育士確保に向けた取組みは。 (2)今後、途中入所に対応できる保育士確保に向けた取組みは。</p> <p>亀岡市では介護保険法の改正に伴い、平成29年4月から新しい総合事業(介護予防・日常生活支援総合事業)が開始される。 (1)新しい総合事業とは。 (2)新しい総合事業で変わるところは。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p> <p>所管部長</p>

		説明について 6 JR千代川駅整備状況について	(3) 新しい総合事業利用の流れは。 (4) 市民説明はどのように行われているか。 JR千代川駅整備が進められており、整備費が平成29年度予算に計上もされている。 (1) 整備進捗状況はどうか。 (2) 今後の年度ごとの整備計画はどのようになるか。	所管部長
15	馬場 隆 3月9日(木) 13:00~ 一問一答	1 京都スタジアム(仮称)建設計画問題について	去る1月25日、環境保全専門家会議は公共事業評価調書の地下水調査結果が、不十分であるとの判断に至った。その後、修正された評価調書は「スタジアムの基礎構造物が地下水流動に与える影響はほぼない」としつつも、「アユモドキの保全については影響がないとは言い切れないので詳細な調査、モニタリングを実施する」との内容が、2月2日の専門家会議で提示され、了承された。また、翌3日、京都府公共事業評価に係る第三者委員会は会議を行い、京都府の事業ありきの拙速な進め方へ疑問の声が各委員から出る中で、事業実施が条件付きで了承された。 これは、「予算計上は了承されたが、工事着工までに地下水への影響が軽微であることと、アユモドキへの影響が軽微であることが関連付けられるような、追加の調査結果や実施されたモニタリングのデータなどを専門家会議に示すこと」としているため、着工そのものが良し、とされた訳ではない。 着工までに行う追加調査の結果やモニタリング等で、アユモドキへの影響があるという結果が出た場合は、どう対応していくのか。事業を直ちに中止すべきだと考え、以下の点を質問する。 (1) 亀岡駅北土地区画整理事業地での開発について 亀岡駅北土地区画整理事業地での地下水脈調査は、何カ所で、いつ、どのような内容で行われたのか。 同事業地に搬入されている土砂は、どこから、どの期間に、どれだけの量が運び込まれているのか。 土質調査を行っていない搬入土があるが、その量はどれだけで、調査しない理由は何か。 (2) 環境保全専門家会議の知見について すでに京都府は、スタジアム基礎工事の内容として12mの長さの基礎杭720本の打設を発表しているが、環境保全専門家会議の指摘事項を無視した形ではないか。同会議共同設置者としての市の対応を求める。 アユモドキへの影響は不可避となるが、対応は。 着工を見送ることに關しては、どう考えるか。	市長 所管部長

		2 介護保険問題について	<p>この4月から「介護予防・日常生活支援総合事業」が始まる。</p> <p>(1)本市の介護予防・日常生活支援総合事業について 予防給付の見直しとして、要支援1・2の介護保険給付外しが行われ、日常生活支援総合事業となるが、現在、要支援1・2の方々は何人おられ、どう制度が変わるのか。 次年度以降の要支援1・2の方々への対応は。</p> <p>(2)居場所づくりについて 亀岡市民千人に1カ所程度、約90カ所の居場所づくりを行うとのことだが、各町への対応は。 地区社会福祉協議会があるところでの対応は。 同社協がないところでの対応は。 あってはならない事だが、事故が起こった場合の対応は。 運営費補助はどのような仕組みとなるのか。</p> <p>(3)医療・介護総合法は国の責任放棄ではないかと考えるが、所見は。</p>	市長 所管部長
16	<p>菱田 光紀 3月9日(木) 13:35~</p> <p>一問一答</p>	<p>1 京都スタジアム(仮称)関連事業について</p> <p>2 景観を重視したまちづくりについて</p> <p>3 小中学校区の再編計画について</p>	<p>京都スタジアム(仮称)建設に伴い、市内各所で京都府による府道改修等の取組みがされている。</p> <p>(1)以前から亀岡市民から要望がありながら実現が難しいとされていた事業において、現在取組中のスタジアム関連と思われる事業実施箇所はどの程度あるのか。</p> <p>(2)今後さらに期待される事業箇所はどの程度見込まれるか。</p> <p>亀岡市景観条例が施行されたが、具体的な取組みがいまだに見えないように感じる。</p> <p>(1)取組状況はどうなっているのか。</p> <p>(2)以前に城下町地区を中心にアンケート調査をされているが、その後の進展はどうなっているか。</p> <p>(3)西豎町で古民家を生かした取組みがされるようだが、地域と景観に配慮した話し合いはどのようにされているのか。</p> <p>昨年9月定例会でこのことについて質したところである。亀岡地区東部自治会エリアの南部地域の今後の進め方について改めて問う。</p> <p>(1)今後の進め方は。</p> <p>(2)誰のための再編なのか。いまだに原案ありきの実施にしようとしていないか。</p> <p>(3)地域課題としっかり向き合った、子どもたちの未来を考えた再編であるべきだと考えるがどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 教育長</p>

		<p>4 待機児童解消、子どもたちの生活環境向上のための取組みについて</p>	<p>待機児童解消に向け、平成29年度においても引続き保育環境改善事業に取り組まれるようである。</p> <p>(1) 待機児童解消に向け、さまざまな取組みがされてきた。近年、具体的にどういった事業が行われてきたか。</p> <p>(2) 保育士の確保が難しいと言われている。保育の質も含め、今後どのような取組みが必要と考えるか。</p> <p>(3) 0～2歳児までの保育の充実と併せて、放課後児童会のさらなる充実や、小中学生に向けた「子ども食堂」のような取組みも必要だと考えるが、具体的な施策はどうか。</p>	<p>市長 所管部長</p>
17	<p>石野 善司 3月9日(木) 14:10～ 一問一答</p>	<p>1 セーフコミュニティ、安全・安心のまちづくりの推進について</p> <p>2 ふるさと納税による収入の確保について</p> <p>3 保育所(園)入所申込状況について</p>	<p>セーフコミュニティの再認証を取得し、さらなる安全・安心のまちづくりを、国内はもちろん世界に向けて発信してきたところである。セーフコミュニティやインターナショナルセーフスクールを通じて、事故や怪我などの外傷予防や安全向上対策を行い、子どもから高齢者まで誰もが安全を実感し、安心して暮らせるまちづくりが進められている。</p> <p>(1) インターナショナルセーフスクールの学校・保育所(園)での進捗状況は。</p> <p>(2) 亀岡市セーフコミュニティ調査での課題は。</p> <p>(3) 平成30年のセーフコミュニティ再々認証とインターナショナルセーフスクール再認証取得に向けての取組みは。</p> <p>ふるさと納税が地方創生の1つの目玉政策に掲げられ、注目が高まる中、ふるさと納税の額は、各自治体で過去最高額に達する勢いで増えており、国民の関心はますます高まるばかりである。</p> <p>一方、ふるさと納税をした人に、その謝礼として贈る地元の特産物が、各自治体でますます豪華になる謝礼品合戦に、苦言も呈されているところである。</p> <p>(1) 本市の現在の取組状況は。</p> <p>(2) ふるさと納税の謝礼品として地元の特産物を贈れば、地方創生として地場産業の振興、地元のPRにもなり、さらにふるさと納税にかかわる事務などで地元の雇用を促進することにもなると考えられるが、ふるさと納税の今後の課題は。</p> <p>(3) 今後の方向性は。</p> <p>平成29年4月からの保育所(園)入所希望者の第1次受付、第2次受付が終わった。待機児童問題は全国的な課題となっている。平成29年度の保育所(園)入所状況、待機児童の状況について問う。</p> <p>(1) 第1次受付における入所申請状況は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p> <p>市長 所管部長</p>

		<p>4 篠地区コミュニティバス本格運行について</p> <p>5 スポーツ振興について</p>	<p>(2) 第2次受付における入所申請状況は</p> <p>(3) 公立保育所8園への入所申請状況は。</p> <p>(4) 私立保育園7園への入所申請状況は。</p> <p>(5) 待機児童の状況は。</p> <p>(6) 待機児童解消の状況は。</p> <p>昨年、篠地区において公共交通空白地域解消や利便性向上を目指し、篠地区コミュニティバス試験運行が実施され1年が経過した。試験運行及び利用状況について問う。</p> <p>(1) 現在までの利用状況は。</p> <p>(2) 利用者数は。</p> <p>(3) 収支率は。</p> <p>(4) 今後の課題は。</p> <p>昨年の世界空手道選手権大会で、地元亀岡市出身の荒賀龍太郎選手が世界一となり、一気に注目を浴び、市民・府民のみならず、日本全国にその競技の知名度を向上させた。これからの若い世代が、空手道を目指すきっかけとなったのではないかと。夢と希望を与えることができるスポーツは、たとえできなくても観戦による応援ができ、まさに国民こぞっての大イベントとなる。</p> <p>また、2020年のオリンピック・パラリンピック競技大会の開催地が、東京に決定されたことを契機に、本市は長年に渡るオーストリアのクニッテルフェルト市との姉妹都市交流や市内の空手道団体の積極的な活動、東京五輪での活躍が期待される荒賀選手がいることなどから、昨年、オーストリアのホストタウンとして登録された。ホストタウンとして取り組むことは、地域の活性化はもちろん、グローバル化の推進、観光振興の観点から、参加国、地域との人的、経済的、文化的な相互交流を図ることができ、スポーツ振興や教育文化の向上及び共生社会の実現が図られる。</p> <p>(1) 引き続き、有望な選手の輩出を望むが、これからの選手育成や競技環境整備などの考えは。</p> <p>(2) スポーツイベントによる、まちの活性化という観点において、市長の所見は。</p> <p>(3) 東京五輪を契機としたホストタウン登録を含め、スポーツを通じた亀岡市の強みと可能性などについて、市長の所見は。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>市長</p>
18	<p>奥村 泰幸 3月9日(木) 15:05～</p> <p>一問一答</p>	<p>1 新火葬場建設計画と周辺整備について</p> <p>2 駐車場の整備</p>	<p>新火葬場建設計画と周辺整備について問う。</p> <p>(1) 新火葬場整備検討審議会の会議進捗状況は。</p> <p>(2) 新火葬場建設に伴う周辺整備について西山平和台公園の整備は。急傾斜地対策は。市営平和台住宅の方向性は。</p> <p>駐車場の整備と有料化についての所見を問う。</p>	<p>市長 所管部長</p> <p>所管部長</p>

		備と有料化について	(1) ガレリアかめおか地下駐車場の有料化は。 (2) ガレリアかめおか駐車場の拡張整備は。 (3) 京都スタジアム(仮称)駐車場の整備は。	
		3 「桜石」について	「桜石」について問う。 (1) 「桜石」の保存についての所見は。 (2) 観光資源としての活用についての所見は。	所管部長
		4 保育所について	保育所の現状、今後の方向性について問う。 (1) 公立保育所の役割とは。 (2) 私立保育園の役割とは。 (3) 亀岡市立保育所の現状について 待機児童の現状は。 園児数の推移と今後の予測は。 定員数と入所率は。 保育士の確保は。 (4) 公立保育所の民営化についての所見は。	所管部長
19	酒井安紀子 3月9日(木) 15:40~ 一問一答	1 スタジアムを中心としたまちづくりについて	スタジアムだけでなく、京都・亀岡保津川公園、高水敷公園、区画整理事業など、一帯としてまちづくりを進めていくということであった。 (1) 全体像はどのようになっているのか。 (2) 駅北一帯の開発で、総額どれだけの投資をしようとしているのか。 (3) 京都・亀岡保津川公園の整備にはいくらかかるのか。 今定例会には新たなスタジアム用地買収のため、20億円あまりの予算が計上されている。 (4) 新たな場所にスタジアムを建設するために必要な前提条件は何か。 (5) いつそれが整うと考えているのか。 (6) なぜ今定例会に予算を計上する必要があるのか。	市長
		2 財政の見通しについて	来年度予算案には、新たな時代のニーズに応えるため、新規や充実の事業が多く含まれている。 (1) 廃止又は終了した事業はいくつあるか。 (2) 廃止した事業の内容と、廃止の考え方は。 (3) キャップ制を設けていながら、なぜ多額の財調取崩しが必要となる予算編成となったのか。 (4) 予算編成過程を公開する考えは。 (5) 財政の見通しでは、どの事業を見込んでいるかを具体的に示すべきではないか。 (6) 減債基金の積立てと取崩しの考え方は。	所管部長